

発言通告書（総括表）

平成30年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	桜井議員 (自民)	<p>○平成29年度決算と今後の財政運営について</p> <p>○都市型災害への対応について</p> <p>○今後の小学校整備について</p> <p>○障害者雇用について</p>	<p>○平成29年度決算審査を行うにあたり今までの反省を踏まえどのように決算審査に臨もうとしているのか。</p> <p>○平成29年度決算を総括し今年度の事業執行や平成31年度の予算編成に繋げていく事が求められている。29年度の決算状況は</p> <p>○区民サービスを低下させない為に基金や未利用地の利活用も含め、これからの財政運営をどのように進めていくお考えなのか</p> <p>○西日本災害を教訓に改めて都市型災害への見直しは必要でないか</p> <p>○避難準備・勧告・指示の発令はどのような状況下で使われるのか。また、区民への周知は</p> <p>○自分が住み、働く場所がどのような被害想定であるのかを正しく伝え、対処することは極めて重要</p> <p>○マンション住民への災害対策について</p> <p>○九段小学校が竣工し1学年3クラスまで対応を可能とした。今後、全区における児童数の推移はどのように考えているのか。今後予定される整備校への対応は</p> <p>○麴町小学校は今年17クラス。図書室や会議室などをつぶしてまで対応してきたが学校施設の再整備は喫緊の課題</p> <p>○国では各省庁による障害者雇用の水増しが大きな問題となっている。地方自治体の中でも同様なことが起きている中、本区における実態は</p> <p>○本区に於ける今後の障害者雇用について</p>	区 長 関係 理事 者
2	はやお議員 (千代田)	<p>1. まちづくりと駐車場施策の連携について</p> <p>2. 高齢者福祉施策の進捗と今後について</p> <p>3. 文化財保護法指定の文化財について</p>	<p>都市における自動車交通環境等の変化を踏まえ、以下について問う。</p> <p>(1) 区のこれまでの駐車場整備施策の経緯と基本的な考え方</p> <p>(2) 今後の駐車場付置義務のあり方および駐車場整備の方向性</p> <p>区の高齢者人口が純増していくことを踏まえ、以下を問う。</p> <p>(1) 高齢者に対する福祉施策の現状および将来構想とその進捗</p> <p>(2) 目標達成のための財源の確保について</p> <p>区内の史跡等、指定されている文化財の保全と整備について、以下を問う。</p> <p>(1) 修理等を実施する際の手続きおよび合意形成のあり方</p> <p>(2) 隣接区との連携の状況</p>	区 長 教 育 長 関係 理事 者

発言通告書（総括表）

平成30年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	飯島議員 (共産)	<p>自然災害減災のために</p> <p>医療の経済的負担軽減を</p> <p>障害者雇用について</p>	<p>減災を実現させるために、区が行うべき具体的な対策を問う。 危険個所の周知徹底、要配慮者施設への支援などを求める。</p> <p>「骨太の方針2018」は連続して医療費の削減を強調している。国際条約、憲法で保障している「健康権」から乖離する一方である。 健康を保障するために、早期発見・治療は欠かせない。 ①がん検診の無料化 ②75歳以上の窓口負担軽減</p> <p>障害者雇用率の不正が省庁や自治体で発覚した。 区の障害者雇用における環境整備などについて問う</p>	区 長
4	岩佐議員 (紡憲)	<p>1、がん等闘病しながら働く患者が治療と仕事を両立するための支援について</p> <p>2、LGBT・SOGIの方への差別解消を目的とした施策について</p>	<p>医療の進歩により様々な疾患の生存率が向上し、病気と闘いながら社会復帰・職場復帰を目指す人が増えている。しかし、疾患を抱える人に働く意欲や能力があっても治療と仕事の両立を支援する環境が十分に整っておらず復職が困難なケースが多い。 アピアランスケアなど、闘病しながら就労するための支援について問う。</p> <p>取り組みの進捗を確認し、全会一致で可決された「性的マイノリティへの理解とすべての区民が自分らしく生きられる社会を目指す施策の展開を求める決議」を受け止めた、啓発事業だけにとどまらない施策展開を求める。</p>	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

平成30年第3回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	大串議員 (公明)	<p>1) 命に関わる猛暑、過去に例のない集中豪雨そして巨大な台風である。これら異常気象の原因は地球の温暖化と都市部のヒートアイランドであるといわれている。そこで、改めて温暖化対策とヒートアイランド対策を問う。</p> <p>2) 日本の超高齢化と異常気象が連続するなかで、防災・減災のあり方が問われている。そこで、改めて区の防災・減災対策を問う。</p>	<p>温暖化対策及びヒートアイランド対策について</p> <p>①気候変動を原因とする度重なる災害を受けて、改めて、区長に区の温暖化対策及びヒートアイランド対策について基本的な考え方を問う。</p> <p>②2015年のパリ協定は温暖化対策を進める上で大きな転換点となった。また、国においては本年6月に気候変動適応法が全会一致で可決成立した。低炭素から脱炭素への大きな転換である。そこで、区の温暖化対策は何を目標とし、どこまで達成できたのか。また、法で努力義務とされた自治体としての気候変動適応計画はどのようなものになるのか。</p> <p>③区は、7年～8年ごとに「みどりと熱分布」について調査し結果を公表している。そしてそれに基づいてヒートアイランド対策を計画的に行っている。大いに評価するもので是非続けてもらいたい。そこで、今後のヒートアイランド対策の目指すべき姿と特徴は何か。また、「千代田区緑の基本計画」の果たしてきた役割と今後の展望は。</p> <p>④まちづくりグランドデザインについて グランドデザインには「水と緑の骨格」と「風の通り道」が示されている。ヒートアイランド対策に示されている「都市形態の改善」につながる重要なものと理解している。すでに15年が経過したがどう評価しているのか。また現在の気候変動を踏まえ必要な更新はするのか。</p> <p>防災・減災対策について</p> <p>①何をもって災害から区民の命を守るのか、区長に防災・減災対策の基本的な考え方を問う。</p> <p>②区民の主体的な防災活動が何よりも大事である。この点「地区防災計画」策定は重要と考える。そこで、区は策定に向けてどう支援していくのか。</p> <p>③避難行動要支援者をどう守って避難につなげていくのか。平時は福祉、災害時は防災という関係構築が大事である。そこで、「防災・福祉支え合いづくり推進事業」を提案する。所見は。</p> <p>④千代田区版「子ども防災手帳」の作成を提案する。所見は。</p>	区長 関係理事者